

しまねらふく

2010.1
Vol.370



一式飾り(出雲市平田町)



年頭のあいさつ

島根県労働者福祉協議会

会長 大崎 康弘

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、ご健勝で新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、昨年一年間、会員及び関係者の皆様に支えられ、様々な活動が展開できましたことに、心からお礼申し上げます。

さて、昨年は念願の歴史的な政権交代が成し遂げられました。「生活が第一」の政権公約を掲げる民主党を中心とする政権与党により、働く者・生活者の目線での政策が着実に実行され、小泉構造改革によって広がった格差が縮まること、壊された

地方と生活が建て直されることに、大きく期待を寄せるところです。

こうしたなかで、働く者・住民の生活向上・福祉の向上のため活動している私たち労福協として、安心・安全な生活が営まれる地域社会の構築に向け、ライフプランセミナーや「くらしサポートセンター島根」の相談活動、及び地域参加を基本的考え方とする地域貢献活動など、様々な活動を実施してきました。

本年も引き続きこうした活動を展開していくとともに、法人化の課題について皆様との議論を踏まえ関係団体と連携し、より一層の具体化を図ってまいりたいと思っています。

将来に向けて、「存在感のある」労福協ならではの活動を展開するため、関係機関・団体の皆さんと連携し、本年も精一杯取り組む所存であります。

会員・関係各位のご支援・ご協力を心からお願い申し上げ、皆様のご多幸を祈念し、年頭のごあいさつといたします。



地区会長

2010年の決意 謹賀新年



江津

野海 修二

新年あけましておめでとうございます。

政権交代したものの、依然として厳しい経済情勢や社会不安は打破されない現状にある今日、「労働者の声」を前面に押し出し、生活向上・福祉型社会の実現に向け、地域に根ざした活動を中心に積極的に取り組んでまいります。

江津地区労福協は、少人数となる今年が節目の年になりますが、会員一同が協力し合い労福協運動を進めますので、皆様方のご支援・ご協力をお願いいたします。



大田



飯田 徹

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、地殻変動ともいえる歴史的な政権交代が実現しました。依然、私たちを取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、労働者の目線、国民の目線に立った政治を期待したいところです。地区労福協といたしましても、引き続き会員をはじめ地域の福祉向上のため頑張っております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

隠岐



平田 芳春

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型インフルエンザの影響で地区のイベントの多くが中止されるなど、地域活性化には大きなマイナスとなる年でした。

隠岐地区では、会員だけでなく地域に貢献する事業にも積極的に取り組んでまいります。



益田

吉岡 勝弘

新しい年を迎え、心よりお慶び申し上げますと共に年頭にあたり、会員皆様のご健勝とご活躍をお祈り致します。

さて、昨年の民主党政権誕生以来、「国民主体」の政治確立に向けて各種の改革が進められ期待されるところであります。が、経済情勢は相変わらず厳しく、働く者へのしわ寄せが尚続くと予測されます。一歩でも二歩でもくらしと福祉の前進を図るため、今年も共に頑張りましょう。



浜田

谷口 佳寿

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様とご家族のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

浜田地区は、障子張りボランティアをはじめとし、地域に密着した取り組みを行ってまいります。

ともに頑張りましょう。





労働者福祉中央協議会 会長 笹森 清

新年明けましておめでとうございます。

政権交代により日本の政治体制が大きく転換しましたが、雇用は依然として深刻な状況にあります。働くことは生きること——その根本が壊されてしまった日本社会の現実、政治も私たちの運動も真剣に向き合わずにはなりません。

中央労福協は結成60周年の節目にあたる昨年11月の総会で、10年先を見据えた「労福協の理念と2020年ビジョン」を採択しました。これからの社会は、市場や国家のみならず、私たち連帯・協同セクターが国民の暮らしを支え、社会改革の担い手として重要な役割を果たしていかなければなりません。そのためにも、労福協・労働組合・協同事業団体が一体となって、国民の共感を呼ぶ社会運動や事業、地域に根ざした顔の見える活動を展開していくことが必要です。

これまでの運動に自信をもって、みんなの思いをひとつにし、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向かって、確実な一歩を踏み出しましょう！



松江

大原 康史



新年明けましておめでとうございます。

政権が交代し新政府は税金の無駄遣いを排除し、硬直化した財政構造を転換するとしています。

昨年来の金融・経済危機は地域にも深刻な影響を及ぼし、雇用情勢も回復の兆しが見えませんが、地区労福協の財政も逼迫しておりますが、労働者福祉に関わる課題の改善に全力で取り組みます。

安来

糸原 一志



新年明けましておめでとうございます。

昨年の役員改選により、新たに安来地区の会長を引き受けることになりました。

働く人が元気が出るような安来地区を目指して取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

雲南

細木 勝



新年明けましておめでとうございます。

日本経済はデフレスパイラルに陥り、賃金削減や失業増加など労働者にとってはさらに厳しい状況が続いています。雲南地区労福協では、会員の輪を広げ互いに助け合いながら気持ちまでさむ事がないよう元気が出る活動を行っていきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

邑智

原 拓矢



新年明けましておめでとうございます。

変革の年と言われた昨年同様、今年も社会情勢がめまぐるしく変化することが予想されます。そんな中でも労福協は労働者の福祉向上に努めていきます。益々のご支援、ご協力をお願いして年頭の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

出雲

広沢 寿志



新年明けましておめでとうございます。今年も会員の皆様にとって実りある一年となることをご祈念申し上げます。

さて、勤労者を取り巻く社会経済環境は、依然として先行き不透明な状況が続いています。また、年金・医療・福祉などの社会保障制度も重大な岐路に立たされ、勤労者の生活設計への不安は高まるばかりです。このようなときこそ勤労者が正当に報われる「福祉型社会」を実現していくことが大切です。労働団体・事業団体・労福協が三位一体となり、「助け合い」を原点とし、地域に福祉活動のセーフティネットを張り巡らせる必要があります。

地域で働くすべての人々や家族の「暮らしの安心と幸せづくり」という労福協活動の基本を大切に、会員一人ひとりが積極的に活動に参加して行きましょう。

第21回チャリティー基金スポーツ大会 寄附金は155,000円に!!



県労福協主催、第21回チャリティー基金スポーツ大会は、県下3会場で(9月8日に西部会場・浜田ゴルフリンクス、9月14日に東部会場・島根ゴルフ倶楽部、10月22日に中部会場・クラシック島根カントリークラブ)で、親睦と交流並びに財団法人しまね・さわやか生涯福祉センターへのチャリティー基金(寄附)を目的として開催されました。ご協力頂きました皆様方に深く感謝申し上げます。

参加者の皆様方からご寄附頂きました1人当たり1000円(西部39,000円・東部60,000円・中部56,000円)は総額で155,000円となり、大崎県労福協会長より財団法人しまね・さわやか生涯福祉センター山縣泰枝専務理事へ寄贈されました。

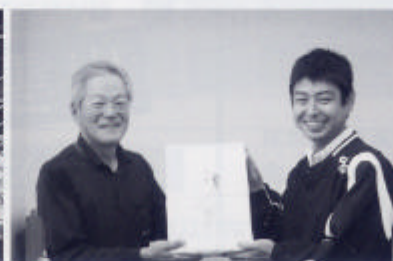
＝新春号では中部会場について報告します(東部・西部会場については前月号に掲載)＝

第21回チャリティー基金スポーツ大会・中部会場の報告 ＝原さんが見事優勝＝

飯田会長(大田地区労福協)から快晴の空の下、「多数の皆様に出席頂き開催出来ることに感謝します。この中部地区チャリティーゴルフ大会では、ご参加頂いた皆様方からしまね・さわやか生涯福祉センターにご寄附を頂き、些少ながら福祉の向上に貢献しています。この取り組みに際し、多数の皆様方に準備・運営にご協力頂いたことに感謝します。また、10月31日に県主催のライフプランセミナーが大田市で開催されます。多数の皆様方にご参加頂きますよう宜しくお願いします(要旨)。」と挨拶し、9時30分アウトホールに集合し細木会長(雲南地区労福協)の始球式の後、参加者56名がアウト・インホールに別れ、快晴の秋空に向かい豪快なショットを打ちスタートしました。終了後には、全員が集い表彰式を行い閉会しました。



▲主催者代表挨拶:飯田会長(写真右)



▲中部会場優勝者:原さん(写真右)



▲基金寄贈:山縣専務(写真左)

★各会場の入賞者は次の通りです(敬称略)★

東部会場

順位	お名前	グロス	ハンディ	ネット
優勝	米山 治生	83	12.0	71.0
準優勝	山野 恵二	90	18.0	72.0
第3位	田邊 光男	83	10.8	72.2

中部会場

順位	お名前	グロス	ハンディ	ネット
優勝	原 広行	85	12.0	73.0
準優勝	勝部 俊幸	83	9.6	73.4
第3位	山本 誠一	87	13.2	73.8

西部会場

順位	お名前	グロス	ハンディ	ネット
優勝	石田 明己	99	27.6	71.4
準優勝	佐々木康雄	101	27.6	73.4
第3位	松井 博	93	19.2	73.8

2009年度 ライフプランセミナー（報告）

今年で8年目を迎えました県労協主催「ライフプランセミナー」は、9月26日に東部会場（隠岐の島町）を皮切りに、10月17日に西部会場（江津市）、10月31日に中部会場（大田市）で開催し、総数130名の参加者を頂き開催しました。

このセミナーは「勤労者福祉向上キャンペーン」の一環として、島根県、県商工会議所連合会、県中小企業団体中央会、県経営者協会、山陰中央テレビジョン放送（株）、中国労働金庫島根県営業本部、全労済島根県本部、（財）県東部勤労者共済会、（財）県西部勤労者共済会など、多くの団体よりご協力を頂き、お陰様で滞りなく成功裡に終了することができました。

隠岐会場



皆様方からのご意見（抜粋）

1. 記念講演について

- 普段あまり深く考えていないような話題を聞くことができたので、為になる部分も多かった。
- 元気で長生きするための知識を得ることができ大変勉強になりました。人との交流を大切に、健康第一で元気な人生を送りたいです。
- 短い時間に数多くの話を聞かせていただき良かったと思います。交流の場にも多く出かけて行動していきたいです。

2. 社会保障制度の基礎知識・退職後プランについて

- 難しくよくわからなかった。
- 数値を入れて初心者に分かりやすい説明で良かったです。
- だいたいのしくみは理解は出来たと思うが、金額面において例を出して説明もあって良かったと思いました。

3. ライフプラン設計と公的・私的保障について

- 身近な事例で数値も具体的に分かりやすく参考になった。
- ガイドブックと板書による説明が良かった。保障関係の知識がないため、内容理解は容易ではない。
- 基本生活費や入院費用等のめやすとなる金額が提示されていたのが良かった。（ガイドブック）高額医療費支給制度の話が良かった。もっと詳しく聞きたかった。エンディングノートのかき方が参考になった。

4. 全体的にこのセミナーについて

- 時間的に長すぎる。テーマは生活に密着した方がいいと思う。
- 話が面白かった。今後、子供にもお金がかかるので生活設計をきちんと立てていきたいと感じた。せっかくの機会なので、もっと多くの人に参加して欲しい。呼びかけをもっとしていくべき。
- 前向きに老後について考えていくことが、よりよい老後をむかえられることがわかった。かけた分の年金をいただける様、しっかり老後に向かっていこうと思う。

江津会場



皆様方からのご意見（抜粋）

1. 記念講演について

- レジメやプロジェクターを使用して、分かりやすい説明でした。実例を上げていたので身近に感じられた。会社の若者にサラ金の恐ろしさを教えた。
- 実態等非常にわかりやすかった。職務上、こういった多重債務者にかかることもあるので、今回の内容についても仕事等で生かしていけたらと思う。
- 悩むより早く弁護士に相談すれば自費を防げた。など話を聞いて納得です。少し早口でした。

2. 社会保障制度の基礎知識・退職後プランについて

- 苦学意識があるせいか、やはり難しかった。繰り上げ支給で生涯年金は支給されないという事は知らなかった。
- 社会保障制度について良くわかりました。
- 自分の職務にかかわることがほとんどだったので、理解しやすかった。窓口での説明資料として使えるかも。

3. ライフプラン設計と公的・私的保障について

- 持ち時間が少なかった為、急ぎ口調だったせいか、聞いて少し疲れた。が一生懸命だったのは、伝わった。林さんには、今度ゆっくりと説明してもらいたい。外資系生保との違いも知りたかった。
- 将来的な話なので、イメージがつかみにくい部分はあるものの、一度考えてみようかと思うきっかけにはなったと思う。
- 付き合っている保険が多いことに気付いてはいたけれど、マイホーム取得に次ぐ買い物という言葉は身にしました。

4. 全体的にこのセミナーについて

- 60才定年退職の人が身近にいるので分かることは説明してあげたい。今回の資料を見せてあげる。定年近い人は一度プランナーの人に相談に伺った方がいいと思った。
- 身近な話題が多いので、多くの人に聞いてもらいたいと思う。希望者には、パワーポイントファイルもプレゼントしてみたい。
- 昼からだと聴聞がおそくてきついです。できれば午前中がいいです。自分のライフプランを考えることで、セミナーに出席してよかったと思います。しかし、先の状況が見えないこともあり、どう考えたらいいのかわからないため、このセミナーが有効か無効か、わかりかねます。

大田会場



皆様方からのご意見（抜粋）

1. 記念講演について

- もっとかたい話かと思いましたが、お家さんだけに上手に話されるので楽しく聞けました。
- なかなか聞く事ができない落語で最後まで聞くことができた。若い年代には入りやすい内容だったと思う。
- 人員削減、資金カットによる悪循環について、こういう方向性もあるのかと考えさせられました。（最後のオチは少々無理？があったかなと）

2. 社会保障制度の基礎知識・退職後プランについて

- 若者だが、今段階で老後の話を聞けて、今からの準備が必要と感じた。
- 退職後を主に考えた社会保障制度の基礎知識について講義を受けましたが、やはりまだ自分自身実感がないのか、頭に入りにくい気がしました。ただ必要な事なので、今一度資料を見てみたいと思います。
- 独身女性で退職した場合は、果たして先にのべたプランが適用するか不安。これからそういう女性ばかり出てくるのでは？配偶者がいない受注者がこれから増える可能性大と思われる。老齢厚生年金の支給について（生き生きプランP6）、初診女性は5年遅れないのか？75歳で支給されることによって支給はないか？有利となるかが不明。

3. ライフプラン設計と公的・私的保障について

- 資金形態が上がり、負担ばかりが増えていく現在、少しでも保障見直し等で、生活が安定する道を自分自身で探さなければならないと思った。
- 可処分所得が減る中、多くの方に制度見直しを考えるきっかけになったと思う。見直しにあたっての考え方をわかりやすく聞けてよかった。
- 母子家庭の場合のライフプランはどうなのかなと考えてしまいました。該当するプランもあるのですが、実際にできるのかという判断が出てきます。未婚のまま老後をむかえた場合、保険と貯金とどちらに力を入れた方が有利となるか？保険の種類によっては損をするのでは？

4. 全体的にこのセミナーについて

- 初めて参加させていただきましたが、とても勉強になりました。年金など、まだまだ考えていませんでしたが、退職前から考えないと感じました。
- 生きていく上で必要な部分をかみくだいて説明していただき大変参考になったと思う。難しく考えないで、より多くの人がこういうセミナーを聞いてほしいと思う。
- 一方的な説明だけでは物足りない感じがする。質疑応答があってもよかったのでは？

2009年度 ライフプランセミナー・アンケート集約

会場	隠岐会場	開催日	9月26日	参加者数	130人	アンケート回収枚数	71枚
	江津会場		10月17日		(全体)		
	大田会場		10月31日			アンケート回収率	54.6%

1. 記念講演について

○良かった	49	69.0%
△まあまあ	19	26.8%
×良くなかった	2	2.8%
□無回答	1	1.4%

2. 社会保障制度の基礎知識・退職後のプランについて （平野尚志氏・ファイナンシャルプランナー）

○良かった	27	38.0%
△まあまあ	40	56.3%
×良くなかった	2	2.8%
□無回答	2	2.8%

3. 退職からのライフプランと生活設計について （全労済・ファイナンシャルプランナー）

○良かった	35	49.3%
△まあまあ	30	42.3%
×良くなかった	1	1.4%
□無回答	5	7.0%

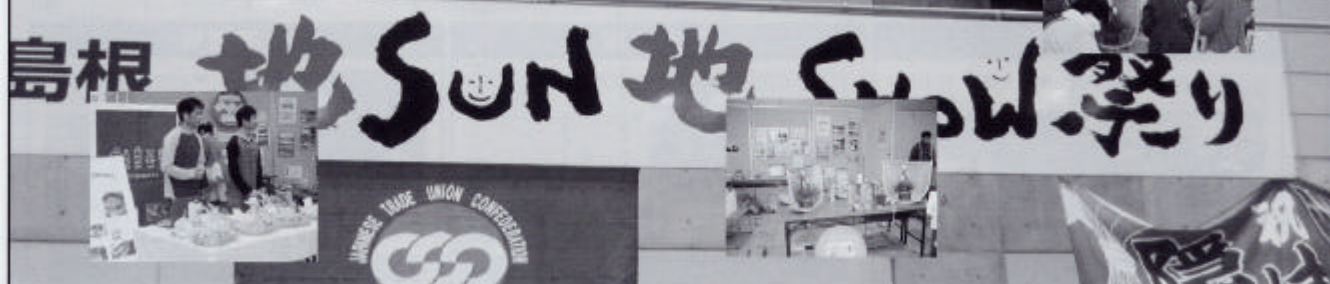
4. 全体的にこのセミナーについて

○良かった	35	49.3%
△まあまあ	33	46.5%
×良くなかった	1	1.4%
□無回答	2	2.8%

5. あなたの職場で今回のセミナーを開催してほしいと思いますか

○思う	35	49.3%
△思わない	2	2.8%
×どちらとも言えない	29	40.8%
□無回答	5	7.0%

『地SUN地SHOW祭り』でNPOを紹介 松江地区労福協・労金部会



松江地区労福協労金部会（部会長 景山 誠）は、11月29日（日）に開催された連合島根第26回地SUN地SHOW祭りで松江市を拠点として活動するNPO法人2団体を紹介しました。

松江地区労福協はこれまでもNPOについての研修会を開催して労福協運動とNPO活動の協働に向けて検討してきました。また、労金部会を中心に『ろうきんNPO寄付システム』への協力者募集も積極的に取り組んでいます。

地SUN地SHOW祭りでNPO紹介を行うことについては事前に部会幹事会で検討し、出店依頼先を選考してきました。



出店を引き受けてくださったNPO

NPO法人 竹でだんだんしまね

松江市古志原3-9-8

わたしたちはよき自然環境を次世代へ引き継ぐ為に、ボランティアの方々と荒廃した竹林の間伐作業に取り組み、間伐竹材を竹炭・竹酢液等に加工しています。古志原のアンテナショップでは全国の竹材用品を揃えると共にお客様の要望に応えた製品作りをしています。また小学校では竹が循環素材として活かせる体験授業も行い、鹿島町では体験型宿泊施設うぐいすの里「紺屋」を県内外の方に利用して頂く為に、運営を行っています。



担当者のひとこと

NPOの活動を地域の方々に理解して頂く事ができ、とてもよかったです。環境保全だけではなく、もっと地域に密着して、それが活性化に繋がると信じて、活動していきたいと思っています。 杉原祥子

NPO法人 みけねこ（ショップみけねこ）

松江市古志原5-820-13



わたしたちは、児童及び障害者に対して、就労支援や在宅支援に関する事業を行い、すべての人々が豊かに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的として活動しています。

『ショップみけねこ』は10年前に養護学校教員や関係者、福祉施設職員が運営委員会をつくり養護学校卒業後の地域で働ける店舗型福祉事業所として、クッキーの製造販売の店をはじめました。

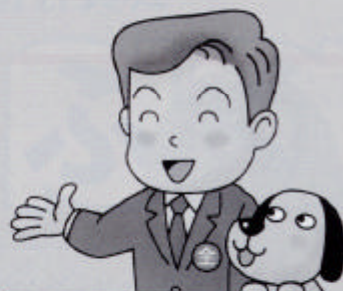
現在はスタッフ12名が通い、お客様からの注文分の製造や学校などへ販売に出かけて、毎日忙しく働いています。

担当者のひとこと

初めての参加でしたが、いろいろなグループと一緒でき、とてもよい刺激になりました。さらに今後、参加グループがふえ、より多くの方に来ていただけるお祭りになればいいな、と思います。 田中 新也

ご存知ですか?

～現在ご加入の生命保障について～



自賠責共済も全労済で!!

自賠責共済推進強化期間中(2010年5月まで)

- ・新車購入時には、登録されるまでに全労済にご連絡ください
- ・継続車検時には、事前に全労済にご連絡ください

島根県民のしあわせづくりのため果敢にチャレンジします。 会員各位のご活躍とご多幸を祈念します。



中国労働金庫島根県営業本部

本部長 遠藤 渡

信頼度No.1の金融機関をめざして。中国ろうきんは「助け合い」の役割を発揮し、福祉金融機関として社会に貢献できるよう全力を尽くします。



全労済島根県本部

理事長 浅沼 延夫

人は皆、しあわせを願っている。でも幸せは一人ではつくりえない。
全労済運動で一人ひとりの幸せづくりをしましょう。



連合島根 会長
(財)しまね・さわやか生涯福祉センター 理事長
(財)島根県中央労働福祉センター(労働会館) 理事長

矢倉 淳

県内で働くすべての労働者の連帯で、総合的な「労働を中心とする福祉型社会」をめざして頑張ります。本年もご支援ご協力お願い申し上げます。



島根県生活協同組合連合会

会長理事 鎌田 憲男

ふだんのくらしに役立ち、社会に開かれ誰もが参加できる生協、地域社会に貢献できる生協であり続けるために一層の努力を続けます。



編集委員

監事

神門 至 県労福協
周藤新市 県労福協
竹下陽子 県労福協
南木恵治 中国労働金庫
石原 淳 全労済

田村祐二 連合島根
川野英樹 連合島根
平田芳春 地区労福協
岩本辰彦 地区労福協
谷口佳寿 地区労福協
原 拓矢 地区労福協
野海修二 地区労福協
飯田 徹 地区労福協
広沢寿志 地区労福協
菅田和美 地区労福協
梶川義雅 地区労福協
田邊光男 地区労福協
小松原直樹 地区労福協
土井正明 連合島根
桐田直人 連合島根
小村亮二 連合島根
宇都宮亮明 連合島根
佐藤伸廣 連合島根
山縣泰枝 連合島根
大原康史 労働会館
鎌田憲男 県生協連
川辺 修 全労済
周藤新市 幹事会
神門 至 幹事会
石塚 博 日立関連
堀内幹夫 連合島根
福島秀紀 連合島根
仲田敏幸 連合島根
永野春樹 連合島根
矢倉 淳 連合島根
浅沼延夫 全労済
遠藤 渡 中国労働金庫

幹事事務局次長

副会長

大崎康弘 幹事会
遠藤 渡 中国労働金庫
浅沼延夫 全労済
矢倉 淳 連合島根
永野春樹 連合島根
仲田敏幸 連合島根
福島秀紀 連合島根
堀内幹夫 連合島根
石塚 博 日立関連
神門 至 幹事会
周藤新市 幹事会
川辺 修 全労済
鎌田憲男 労働会館
大原康史 県生協連
山縣泰枝 連合島根
佐藤伸廣 連合島根
宇都宮亮明 連合島根
小村亮二 連合島根
桐田直人 連合島根
土井正明 連合島根
小松原直樹 日立関連
田邊光男 地区労福協
梶川義雅 地区労福協
菅田和美 地区労福協
広沢寿志 地区労福協
飯田 徹 地区労福協
野海修二 地区労福協
原 拓矢 地区労福協
谷口佳寿 地区労福協
岩本辰彦 地区労福協
平田芳春 地区労福協
川野英樹 連合島根
田村祐二 連合島根

本年も宜しく
お願い申し上げます。

